

特別賞

(アーバンリフレッシュ賞)

■大博通りシンボルロード整備事業 (表彰対象者：福岡市土木局)



歴史の散歩道イントロダクション (起点)

事業のあらまし

大博通りシンボルロードは、陸の玄関口JR博多駅と海の玄関博多港を結ぶ幅員50mの幹線道路である。博多駅側は区画整理事業、海側は戦災復興事業で拡幅が終了していたが、古い町並みの残る御供所、冷泉地区の整備が遅れていたため、早急な整備が望まれていた。このため、昭和49年から市の重点施策として拡幅事業を行っていたが、市制100周年記念事業の1つとして地域の歴史を生かしたモール整備を行ったものである。

- ・延長 1,960m
- ・幅員 50m
- ・事業費 8,300百万円

博多駅前全景



西日本銀行本店ビル前
にあるモニュメントは、
約50センチほどの高さ。
ベンチ代わりにもなっ
ている。

おポンプ様

いまではすっかり姿を消した手押しポンプを修理して再現したものである。もともと歩道にあったこのポンプは、右と左の両方に「腕、のついた非常に珍しいタイプのもので、自由に汲み上げていい。ただし、飲用には適していない。



博多三井ビル前に位置するセラミック展示。山笠期間中は、近くの東流の飾り山が置かれる。



奈良屋小学校前の壁絵



街路樹の植え込みのなかに立つセラミック展示。



地元で出土した玩具と思われる騎馬人像が、透明なケースに入っている。

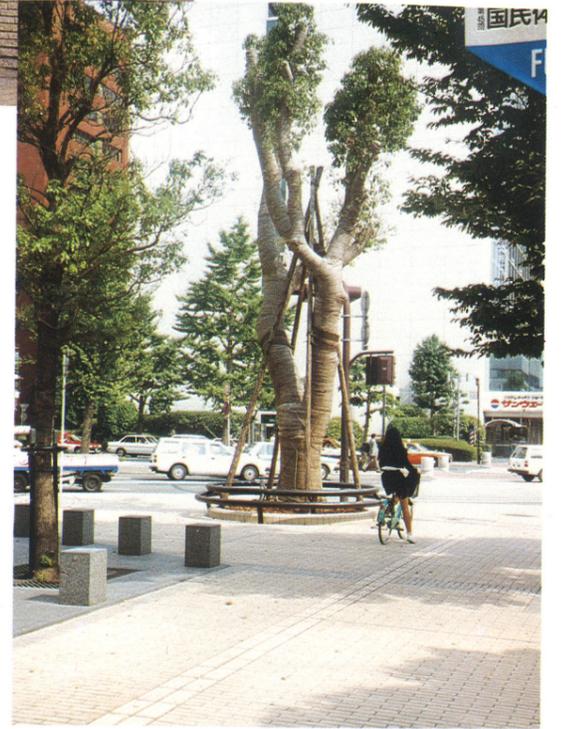
受賞の理由

整備の遅れていた地区を福岡市の歴史性を生かして「歴史の散歩道」と位置づけ、再生させた着想の斬新性が評価の対象とされた。



祇園町のバス停横、木陰のなかにウォール展示がある。

大博通りのシンボルとなるツリー



木造千手観音立像（重文）をまつる東長寺の正面にあるレプリカ。それをぐるりと巻く形で円形のベンチがある。

